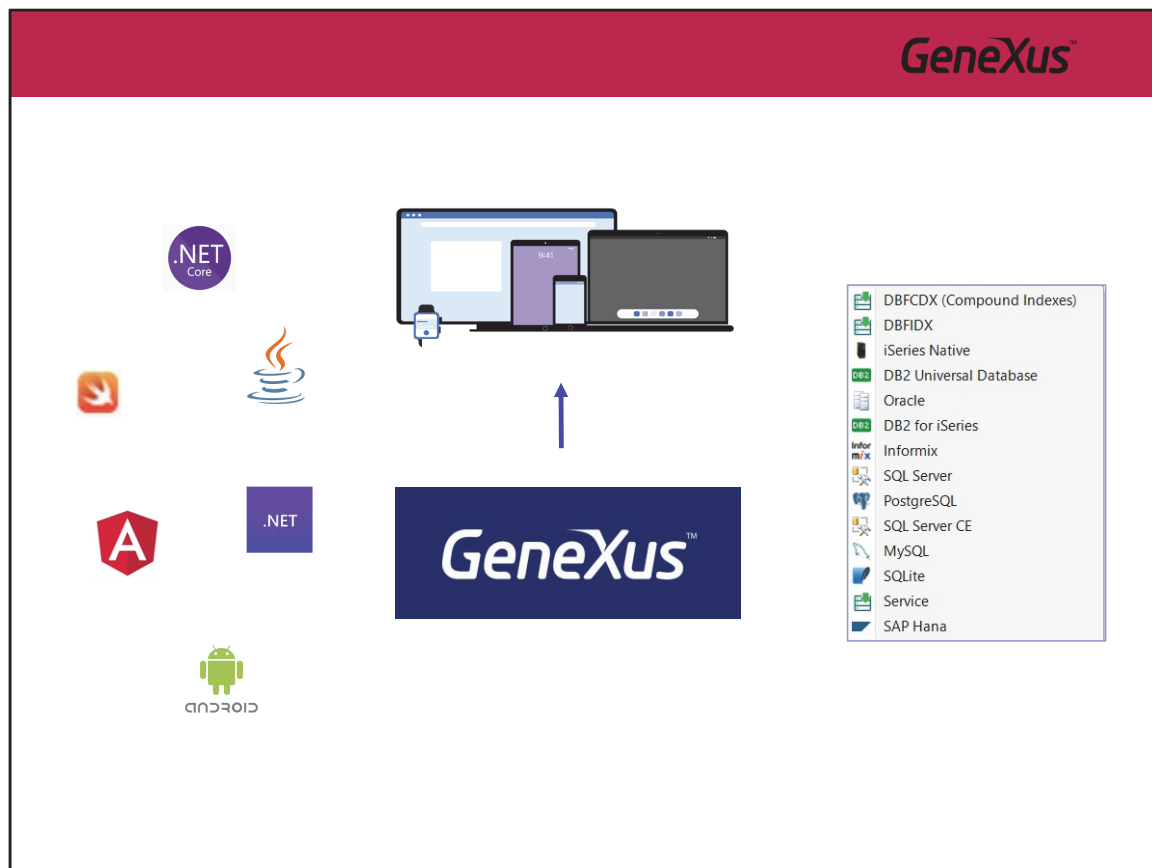


Environment (環境オブジェクト) の紹介

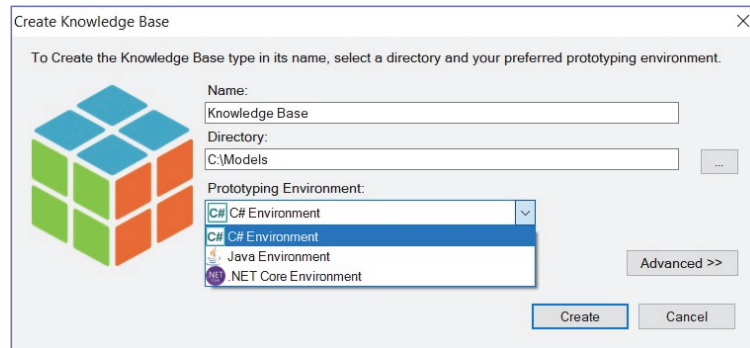
GeneXus[™]



既に説明したとおり、GeneXus の重要な優位性の 1 つは、Web インターフェースの使用やモバイルデバイス対応など、さまざまなプラットフォームを対象にアプリケーションを生成できることです。複数のプログラミング言語でコードを生成したり、多様なデータベースにアプリケーションデータを格納することができます。

実行環境に関する情報はすべて Environment で定義されます。

GeneXus 製品版 - 環境



GeneXus には製品版と Learning 版があり、Learning 版では利用可能なプログラミング言語やデータベースなどに制限があります。

ナレッジベースを作成すると、既定の Environment オブジェクトが作成されます。製品版の GeneXus では、アプリケーションのバックエンドに使用するプログラミング言語を選択するためのダイアログボックスが表示されます。その他の情報はプロパティを使用して設定する必要があります。

フロントエンドとバックエンド



フロントエンド

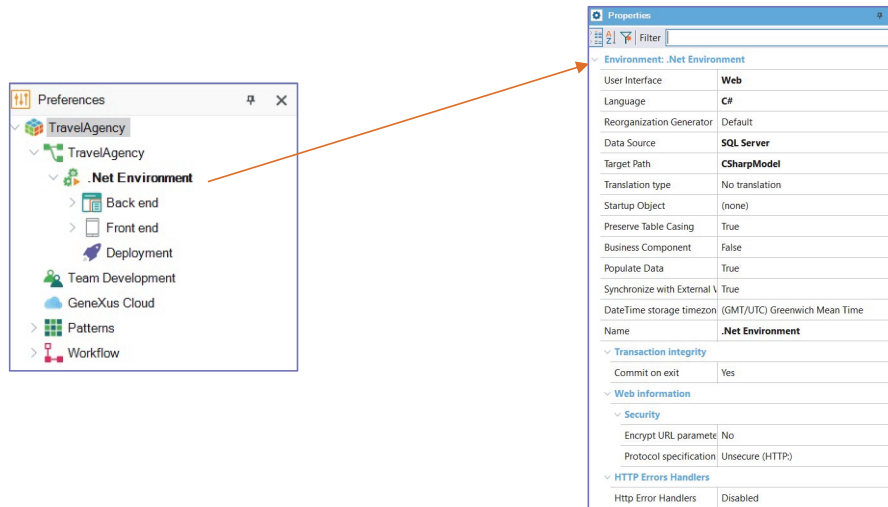


バックエンド



アプリケーションのフロントエンドは、ユーザーと情報をやり取りするパーツです。一方、バックエンドは、アプリケーションのすべてのロジックとプログラム、また、データベース、サーバーなどへの接続を処理します。

GeneXus 製品版 - 環境

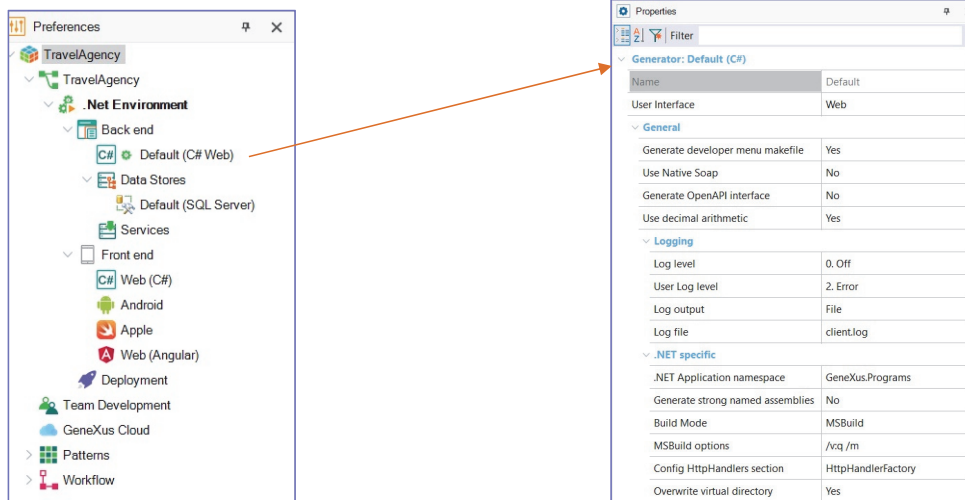


製品版の GeneXus の IDE では、環境に関するすべての情報が [設定] ウィンドウに表示されます。ここには、実行プラットフォームとその特性を決定する、いくつかのプロパティが定義されています。

Environment は、次のノードで構成されています：

- バックエンド
- フロントエンド
- デプロイメント

GeneXus 製品版 - 環境

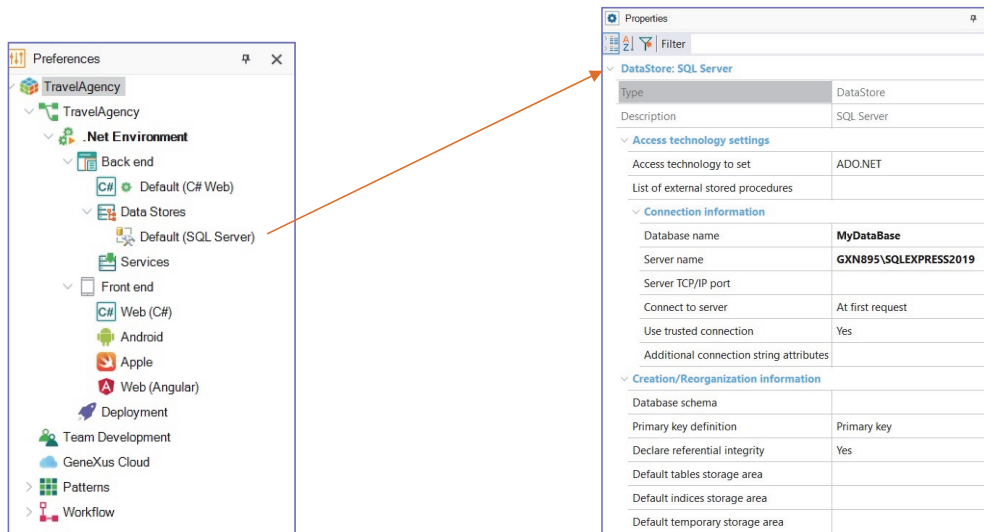


[バックエンド] ノードでは、生成に使用するプログラミング言語を定義します。たとえば、C#、Java、.NET Core です。既定のジェネレーターが表示されますが、これはナレッジベースの作成時に指定されたものです。

このノードを右クリックし、[新規ジェネレーター] を選択して、新しいジェネレーターを定義することもできます。

ジェネレーターのプロパティでは、生成するオブジェクトの特性、サーバー、または使用するプログラミング言語を定義します。

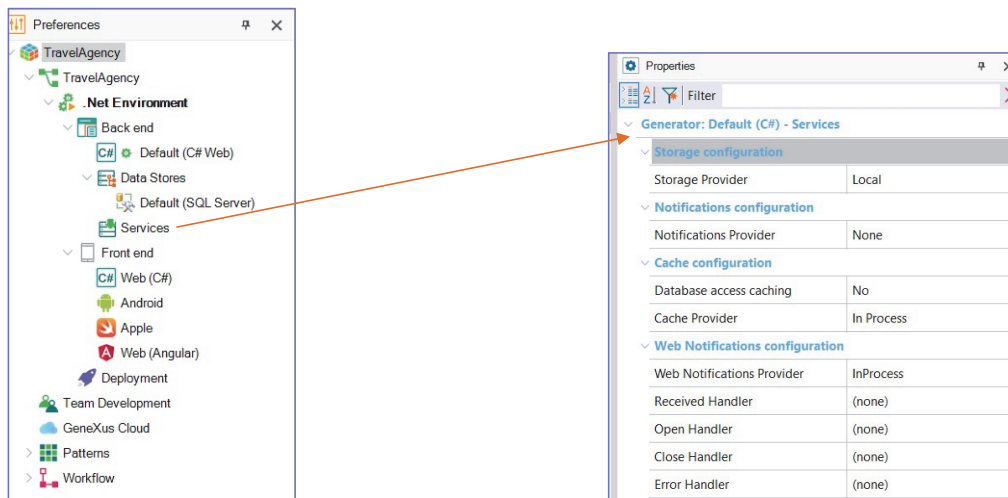
GeneXus 製品版 - 環境



次に、[データストア] ノードについて説明します。ここでは、アプリケーションのデータを格納するデータベースのタイプを定義します。また、問い合わせ情報にアクセスできる、ほかのデータベースを定義することもできます。

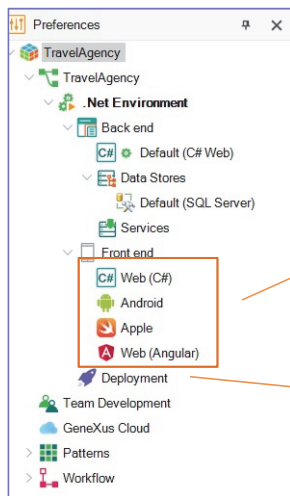
データストアのプロパティでは、サーバーのアドレス、ユーザー、パスワード、データベースのバージョンなど、データベース接続のデータを定義できます。

GeneXus 製品版 - 環境



[サービス] ノードのプロパティでは、サービスの管理、ストレージの構成、通知などを設定できます。

GeneXus 製品版 - 環境



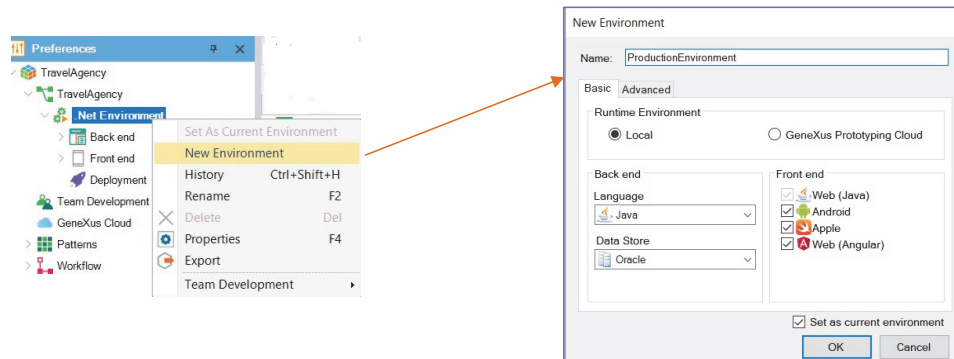
フロントエンドの設計に
利用可能なジェネレーター

デプロイメントユニット: デプロイ時に
統合するオブジェクトのセットを指定

次に、[フロントエンド] ノードについて説明します。ここには、アプリケーションのコンポーネントの設計に利用できる一連のジェネレーターが表示されます。また、[デプロイメント] ノードでは、さまざまなデプロイメントユニットを定義できます。

デプロイメントユニットは、デプロイメントを行う際に統合するオブジェクトのセットを指定します。

GeneXus 製品版 - 新しい環境の作成方法



GeneXus では、1 つのナレッジベースに複数の実行環境を定義することができます。たとえば、テストデータを使用してデータベースに接続する開発ステージのための実行環境を定義してから、別の本番環境のサーバーとデータベースを定義できます。

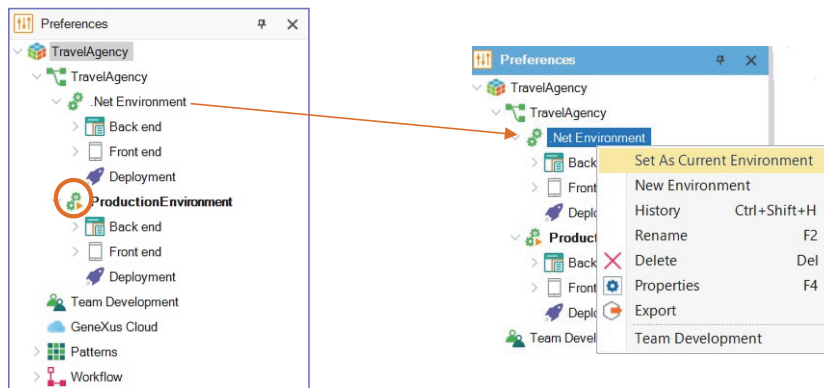
ここで、新しい環境を定義してみましょう。

定義済みの環境の名前を右クリックし、[新規環境] を選択します。
次を指定します：

- 新規環境の名前を指定します。ここでは「ProductionEnvironment」とします。
- 次に、プロトタイプをローカルで行うか、GeneXus クラウドで行うかを指定します。
- バックエンドの言語を選択します。
- 使用するデータストアを選択します。
- フロントエンドのジェネレーターを指定します。

プロトタイプ環境に GeneXus クラウドを選択した場合、データストアを選択するオプションは無効になります。

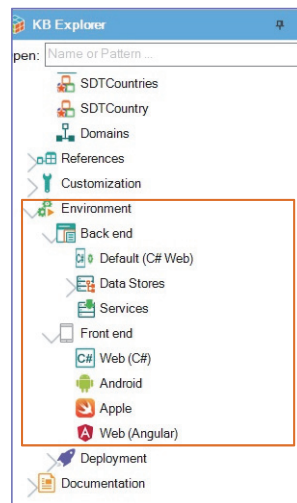
GeneXus 製品版 - 現在の環境



新規環境を定義すると、名前が強調表示され、アクティブな環境になります。アクティブな環境には再生アイコンが表示されます。F5 キーを押すと、この環境が適用されます。

ほかの環境でアプリケーションをビルドするには、環境名を右クリックして [ターゲット環境として設定] を選択します。

GeneXus Learning 版 - 既定の環境



Learning 版の GeneXus では、新規環境を定義することはできません。

ナレッジベースを作成する際には、プロトタイプ環境として、既定で GeneXus クラウドが設定されます。バックエンドのジェネレーターには C#、フロントエンドの生成には C#、Android、Apple、および Angular が指定されます。

注意:

Learning 版の GeneXus の IDE では、[KB エクスプローラー] のウィンドウに [環境] ノードが含まれています。このノードにはバックエンドとフロントエンドのオプションがありますが、新規環境を定義するためのオプションはありません。